

- 1 宮城県の県庁所在地であり、東北地方の政治・経済・文化の中心となっている都市を何という？
① 秋田市 ② 青森市 ③ 仙台市 ④ 盛岡市
- 2 岩手県で伝統的な技術を受け継いで作られている、古くから全国的に有名な工芸品を何という？
① 漆器 ② 曲げわっぱ ③ こけし ④ 南部鉄器
- 3 東北地方の夏の冷涼な風による冷害被害を抑えるために開発された、低温でも育ちやすい稲の品種を何という？
① 早生品種 ② 耐冷品種 ③ 多収穫品種 ④ ブランド品種
- 4 青森県と北海道の間にある、津軽半島と下北半島の北側に広がる海峡を何という？
① 津軽海峡 ② 鳴門海峡 ③ 宗谷海峡 ④ 関門海峡
- 5 宮城県で開発され、あっさりした食感でかつて全国的な人気を博した米の品種を何という？
① つや姫 ② ひとめぼれ ③ あきたこまち ④ ササニシキ
- 6 東北地方の中央を南北に走り、日本海側と太平洋側の気候を分けている山脈を何という？
① 飛騨山脈 ② 木曽山脈 ③ 奥羽山脈 ④ 北上高地
- 7 長い歴史の中で培われ、その土地の技法や文化を伝承している工芸品をまとめて何という？
① 無形文化遺産 ② 伝統的工芸品 ③ 重要文化財 ④ 史跡名勝天然記念物
- 8 奥羽山脈の東西に並ぶ、山に囲まれた平坦な土地を何という？
① 盆地 ② 扇状地 ③ 台地 ④ 三角州
- 9 地震などの影響で海底が隆起や沈降し、海水が急激に押し寄せる自然災害を何という？
① 地震 ② 火山の噴火 ③ 津波 ④ 土石流
- 10 青森県が全国で最も多く生産しており、冷涼な気候をいかして栽培されている果物を何という？
① ぶどう ② さくらんぼ ③ みかん ④ りんご
- 11 岩手県の内陸部に広がる北上盆地などで盛んに行われている、米を栽培する農業を何という？
① 稲作 ② 酪農 ③ 畑作 ④ 養殖業
- 12 青森県のねぶた祭などが含まれる、本州の北側にある地域を何という？
① 中部地方 ② 東北地方 ③ 近畿地方 ④ 関東地方
- 13 やませが長時間吹き続けることで気温が上がらず、農作物の成長が妨げられる被害を何という？
① 干害 ② 霜害 ③ 冷害 ④ 風害
- 14 三陸海岸に特徴的に見られる、山地が海に沈んで複雑に入り組んだ地形を何という？
① 離水海岸 ② 砂浜海岸 ③ 砂礫海岸 ④ リアス海岸
- 15 宮城県の北部など、入り組んだ海岸線が特徴的で養殖業が盛んな地形を何という？
① 三角州 ② リアス海岸 ③ 砂浜海岸 ④ 海岸平野
- 16 三陸海岸の沖合で、寒流と暖流がぶつかり合うことで魚が集まりやすくなっている場所を何という？
① 潮目 ② 大陸棚 ③ 暖流 ④ 寒流



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	仙台市 は宮城県の県庁所在地であり、東北地方で最も人口が多い都市です。		3 仙台市	☐
2	南部鉄器 は、鉄鋳物による工芸品で、耐久性が高く、使い込むほどに味わいが出るのが特徴です。		4 南部鉄器	☐
3	耐冷品種 とは、低い気温でも生育が阻害されにくく、実を結びやすいように品種改良された稲のことです。		2 耐冷品種	☐
4	津軽海峡 は日本海と太平洋を結ぶ海域です。		1 津軽海峡	☐
5	ササニシキ は、宮城県を代表する米の品種として一時期全国的な人気を博しました。		4 ササニシキ	☐
6	奥羽山脈 は、青森県から福島県まで東北地方の中央部を南北に走っています。		3 奥羽山脈	☐
7	伝統的工芸品 とは、主として日常生活で使用される器具や道具で、製造の過程が昔からの技術・技法によって行われているものです。		2 伝統的工芸品	☐
8	周囲を高い山に囲まれた平坦な地形を「 盆地 」と呼びます。		1 盆地	☐
9	津波 は、地震による海底の地殻変動によって引き起こされる、非常に波長の長い波です。		3 津波	☐
10	青森県は日本一の りんご 生産量を誇ります。		4 りんご	☐
11	この地域では、広大な水田を利用して 稲作 が盛んに行われています。		1 稲作	☐
12	青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県の6県からなる地域です。		2 東北地方	☐
13	初夏に吹き込む冷たい風「やませ」の影響で夏の気温が低く推移すると、農作物が十分に育たない「 冷害 」が発生します。		3 冷害	☐
14	リアス海岸 は、海岸線が非常に複雑に入り組んでいて出入りが多いのが特徴です。		4 リアス海岸	☐
15	リアス海岸 は、入り組んだ湾が続いているため波が穏やかで、栄養分が豊富な海水が入ってくるという特徴があります。		2 リアス海岸	☐
16	この二つの海流がぶつかる境界域を「 潮目 （しおめ）」や「潮境」と呼びます。		1 潮目	☐

言えなかった用語ノート